



2020年5月8日

各 位

会 社 名 : 富士製薬工業株式会社  
代表者名 : 代表取締役社長 岩井 孝之  
(コード番号:4554 東証第一部)  
問合せ先 : 取締役 常務執行役員  
経 営 管 理 部 長 上出 豊幸  
T E L : 03-3556-3344

## 第2四半期業績予想と実績の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2019年11月8日に公表しました2020年9月期第2四半期連結累計期間(2019年10月1日~2020年3月31日)の業績予想と、本日公表の同実績に差異が生じたので、以下のとおりお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、同じく2019年11月8日に公表しました2020年9月期通期(2019年10月1日~2020年9月30日)の業績予想の修正を以下のとおり修正しましたので、併せてお知らせいたします。

### 1. 第2四半期業績予想と実績との差異について

2020年9月期第2四半期連結累計期間(2019年10月1日~2020年3月31日)の業績予想と実績の差異

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 ( A )	16,647	1,209	1,174	781	25.09
実 績 値 ( B )	16,905	1,735	1,610	310	9.98
増 減 額 ( B - A )	258	526	436	△470	—
増 減 率 ( % )	1.6	43.5	37.2	△60.2	—
(参考)前期第2四半期実績 (2019年9月期第2四半期)	18,483	2,467	2,501	1,695	56.66

2020年9月期第2四半期（累計）（2019年10月1日～2020年3月31日）の個別業績予想と実績の差異

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	15,596	1,239	874	28.06
実績値（B）	15,615	1,399	198	6.34
増減額（B－A）	19	160	△676	—
増減率（％）	0.1	12.9	△77.4	—
（参考）前期第2四半期実績 （2019年9月期第2四半期）	17,296	2,515	1,726	57.70

2. 第2四半期業績予想と実績との差異の理由

当第2四半期累計期間については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による営業活動の自粛などにより経費が圧縮されたうえ、海外子会社が堅調に推移したことなどにより、売上高、営業利益及び経常利益において、計画を上回る結果となりました。一方で、2020年4月22日に開示した「2020年9月期第2四半期 有価証券評価損に関するお知らせ」のとおり、当社が保有している2019年3月20日に開示した資本業務提携の相手先であるLotus Pharmaceutical Co., Ltd（台湾証券取引所上場）株式の時価が下落したことにより投資有価証券の評価損1,172百万円を計上することとなり、親会社株主に帰属する四半期純利益は計画を大きく下回りました。

3. 通期の業績予想の修正について

2020年9月期通期（2019年10月1日～2020年9月30日）連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	33,830	2,571	2,501	1,664	53.44
今回修正予想（B）	33,830	2,571	2,501	492	15.78
増減額（B－A）	—	—	—	△1,172	—
増減率（％）	—	—	—	△70.5	—
（参考）前期実績 （2019年9月期）	36,279	4,173	4,169	2,962	97.04

## 2020年9月期通期（2019年10月1日～2020年9月30日）個別業績予想数値の修正

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 ( A )	31,711	2,639	1,861	59.76
今 回 修 正 予 想 ( B )	31,711	2,639	689	22.11
増 減 額 ( B - A )	—	—	△1,172	—
増 減 率 ( % )	—	—	△63.0	—
( 参 考 ) 前 期 実 績 ( 2 0 1 9 年 9 月 期 )	33,740	3,966	2,842	93.10

## 4. 通期業績予想修正の理由

通期の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続くなか、先行き不透明な状況であることから、売上高、営業利益、経常利益につきましては、当初の計画から変更はありません。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、第2四半期累計期間と同様に、投資有価証券の評価損を見込むものと致します。なお、現時点では、当該株式の株価は回復基調であり、株価評価は減損の必要がない水準で推移しておりますが、今後も新型コロナウイルス感染症の影響が株式市場において、いつまで、どのように残るか判断がつかないことから、現時点では第2四半期累計期間と同様に、当社が保有している投資有価証券の評価損を見込むことと致します。

(注) 本資料に記載されている業績予想につきましては、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しております。実際の数値は今後様々な要因により予想数値とは異なる可能性があります。

以 上